

【科目名】理学療法技術学 I 画像診断		【担当教員】高橋明美						
【授業区分】 専門分野(特論)	【授業コード】 3-20-0735-0-1	(メールアドレス) akemi.t@nur.ac.jp						
【開講時期】3 年次後期	【選択必修】必須	(オフィスアワー)						
【単位数】1	【コマ数】8	月～木 8:30～17:30 金 13:00～17:30						
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) (受講のルールに関わる情報・予備知識) 解剖学(神経系)の復習をしておくこと								
【講義概要】 (目的) 脳画像から病変を読み取り、予測される症状に対して、理学療法治療プログラム立案ができることを目的とする。 (方法) 症例を提示しながら、グループワークや実技を中心に講義を進める								
【一般教育目標(GIO)】 脳卒中に対する理学療法をより早期から戦略的に実施するために、脳画像を一つのツールとして活用できるよう、基本的な見方を修得する。								
【行動目標(SBO)】 1. 脳画像を把握する意義について説明ができる 2. 各種脳画像の特徴と見方が説明できる 3. 脳画像において、上行路と下行路を区別して説明することができる 4. 脳卒中病変を脳画像から読み取ることができる 5. 脳画像所見から臨床症状を予測することができる 6. 予測される症状に対する理学療法治療プログラムを立案できる								
【教科書・リザーブドブック】								
【参考書】 ① 吉尾政春・他：標準理学療法学，専門分野，神経理学療法学，医学書院，2013。 ② 原寛美・他：脳卒中理学療法の理論と技術，メディカルビュー，2013。 ③ 大畑光司・他：理学療法テキスト，神経障害理学療法学 I，中山書店，2015。								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 筆記試験およびレポートにより総合的に評価する。								
【達成度評価】	試験	小テ スト	レポ ート	成果 発表	実技	ポートフ ォリオ	その 他	合計
総合評価割合	70	0	10	20	0	0	0	100 点
評 取り込む力・知識	○							

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力			○	○				
	コラボレーションとリーダーシップ				○				
	発表力				○				
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)				時間(分)		
1	講義概要の説明 脳画像活用の意義 脳画像の見方	講義・演習	(予習) 解剖学の復習 (復習) 脳の構造を図示				30		
2	脳画像から上行路と下行路を鑑別	講義・演習	(予習) 疑問点を明確にし、不明な点は教科書等で確認する (復習) 正常な脳の伝導路の理解				30		
3	脳卒中病変を読み取る	演習	(予習) 疑問点を明確にし、不明な点は教科書等で確認する (復習) 脳卒中病変の理解				30		
4	脳画像から予測される臨床症状を予測する	演習	(予習) 疑問点を明確にし、不明な点は教科書等で確認する (復習) 脳画像と臨床症状について理解				30		
5	症例に対する理学療法プログラムを立案する	演習	(予習) 疑問点を明確にし、不明な点は教科書等で確認する (復習) 基本的な理学療法を列挙する				30		
6	症例を提示 1～5 までの作業を行い まとめて発表	演習	グループで不明な点や調べたことを確認し、共有する				30		
7	発表	演習	グループで不明な点や調べたことを確認し、共有する				30		
8	まとめ 振り返り						30		
試験									

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。